



令和4年度

松浪小だより

第9号

学校教育目標……『豊かな心を持ち、自律して行動できる子』を育む学校

目指す子ども像…『・進んであいさつする子・自ら学び、自分の考えが言える子・人の話が聞ける子
・元気よく友だちと遊ぶ子・進んで仕事をする子』

理想とする学校像……「共に学び 共に歩み 共に創る」

- ①児童や教職員が生き生きする学校
- ②保護者や地域から信頼される学校
- ③教職員が互いに研ぎ合う学校

令和4年9月30日(金)発行

茅ヶ崎市立松浪小学校 校長 安倍 武雄

修学旅行に行けた!!



9月12・13日の1泊2日で栃木県の日光へ修学旅行に行くことができました。実に3年ぶりの実施、私自身は校長として初めての修学旅行となりました。何よりも、天候に恵まれ、暖かいを通り越して暑いくらいの陽気の中、日光の自然や歴史に存分に触れることのできた2日間となりました。



子どもたちと教職員を合わせると200人を超える大所帯の松浪小学校です。ちょっと移動するのも大変ですし、見学場所もあつという間に混んでしまいます。華厳の滝では見たこともない大混雑でしたし、光徳牧場のアイスクリームは長蛇の列。湯滝に着いたころはすでに薄暗くなっていました。



日光の自然を満喫したのち、いよいよお宿です。人数の関係で宿は二つに分かれての分宿となりました。どちらのお宿でも丁寧に子どもたちを迎えていただきました。健康や安全にも配慮されていて、安心して宿泊することができました。子どもたちは、夕食、お風呂、お買い物と順調にプログラムをこなし、いよいよクライ

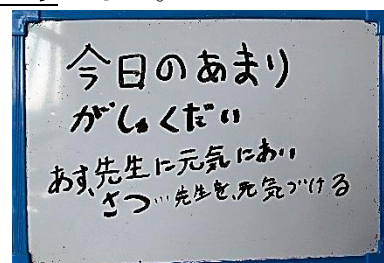


マックスのそれぞれのお部屋での時間です。ぺたぺたと走り回る足音、一斉に起こる笑い声、真っ暗な中でのひそひそ声…。いつもの修学旅行の風景について頬がゆるみます。

素晴らしいなあと思ったのは、消灯後です。担任が消灯を告げて回ると、次第に話し声が収まり、静寂が訪れました。私も何度となく廊下に出て部屋の様子をうかがいましたが全くと言っていいほど声は聞こえませんでした。きっとしっかりお互いのことを考えながら過ごすことができたのでしょう。ほとんどの子がしっかり寝ることができていました。起きている子もいたのですが、決して寝ている子の邪魔をしないのは偉かったなあと思います。

翌日はガイドさんから東照宮の秘密をたくさん伺いました。三猿、陽明門の逆さ柱、眠り猫、想像の象…たくさんの「そこにある意味」を知った子どもたちでした。

修学旅行には、担任のほか養護教諭と校長、そして、各学年からの応援の教員も指導に加わります。その分、学校で担任の帰りを待っている子どもたちもいるのですが、水曜日の教室でこんなかわいらしいものも見つけました。自分たちでがんばってしっかりしようという気持ちが見えます。担任への気遣いも見えます。とてもよい子たちに育っていますね。



全校挙げての一大イベント、修学旅行は大成功の裡に終わりました。

修学旅行だけじゃない



6年生の運営委員会（写真左）は、運動会のスローガン決定のための代表委員会に向けて話し合いをしているところです。図書委員会（同右）は、学校図書館の新しいキャラクターを決定するための準備をしています。どちらも休み時間に自主的に集まり、自分たちで活動を進めています。修学旅行だけではない6年生の活躍です。「進んで仕事をする子」に近づいていますね。

学習評価について

学習指導要領では、新しい時代を生きる子どもたちに必要とされる力（資質・能力）が三つの柱として整理されました。「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性」の3つです。松浪小学校においても3年生以上は、どの教科、単元においても道徳を除き、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。「家庭への知らせ」では、いくつかの単元を総括して、学期ごとに○-十分満足できる、空欄-おおむね満足できる、△-努力を要する、の3段階で評価していきます。また、いわゆる所見と言われた文章による評価は行わず、現在（低学年は7月）行われている個人面談において、お友達関係や生活面でのお子さんの育ちに加え、学習場面において顕著な事項について担任からお話しさせていただきます。学校生活において、ご心配なことがあれば遠慮なく担任までお知らせください。